

7日間で完結する、 フリーランスの確定申告

お金の知識ゼロから始める、完全ロードマップ



「会社員」から「個人事業主」へ。 その最初の壁を、自信に変える。

40代・50代で初めてフリーランスになったあなたへ。

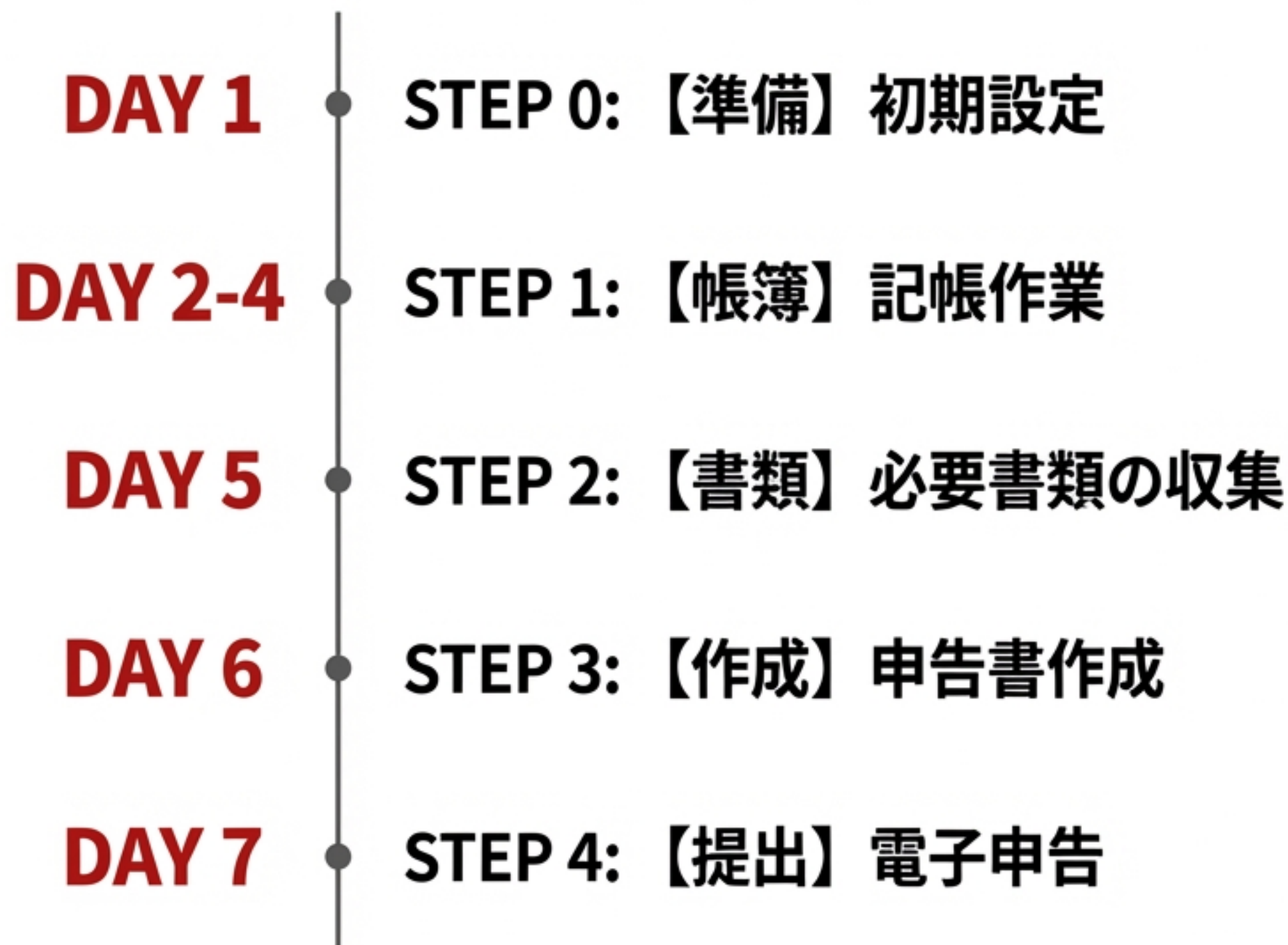
確定申告は、事業のお金の流れを把握し、
経営者としての第一歩を刻む重要なプロセスです。

しかし、お金の知識ゼロから始めるのは不安なもの。

このガイドは、複雑な手続きを「7日間でできる5つのステップ」
に分解。マネーフォワードクラウドを使い、迷わず申告を完了
させるための最短ルートです。



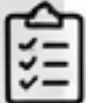
確定申告までの全行程：7日間・5ステップのロードマップ



このステップを踏めば、知識ゼロからでも確実に完了できます。

STEP 0: 【準備】 まずはツールを整え、スタートラインに立つ

やること

-  マネーフォワードへのログイン：
アプリやPCでソフトを使える状態にする
-  初期設定（青色申告の選択）：
節税メリットが大きい「青色申告」を選ぶ
-  銀行口座・カードの連携：
取引データを自動で取り込む設定をする

揃えるもの

-  ユーザーID/パスワード
-  銀行・クレジットカードのログイン情報

💡 お金の知識ゼロポイント

ソフトの案内に従い「青色申告」を選び、普段使う口座を連携するだけ。専門知識は一切不要です。

STEP 1: 【帳簿】 1年間の事業のお金の動きを記録する

ここが一番の山場ですが、一つずつ進めれば大丈夫です。

やること

- 自動データの仕訳：連携した口座の明細が「売上」か「経費」かを分類する
- レシート・領収書の入力：現金で支払った経費を手入力（スマホ撮影が便利）
- 「勘定科目」の選択：すべての取引に項目名（消耗品費など）を割り振る

揃えるもの

- 銀行・クレジットカードの利用明細
- 現金で支払ったレシート・領収書



💡 お金の知識ゼロポイント

勘定科目はソフトが候補を提案してくれます。「これは仕事で使ったお金か？」という判断基準で進めましょう。間違えても後で修正可能です。

STEP 2: 【書類】 個人の控除に必要な書類を揃える

事業の記録が終わったら、次は税金を安くするための個人的な書類を集めます。

やること

- 前職の源泉徴収票の確認: 会社員時代の給与と税額を確認
- 各種控除証明書の準備: 生命保険、国民年金、医療費などの証明書を収集

揃えるもの



前職の「源泉徴収票」



各種控除証明書（生命保険料、地震保険料、国民年金、国民健康保険、医療費通知など）



お金の知識ゼロポイント

これらの書類は年末頃に郵送されているはずです。見当たらない場合は、すぐに発行元へ再発行を依頼しましょう。

STEP 3: 【作成】すべての計算はソフトが自動で行う

あなたが入力した情報をもとに、確定申告に必要な書類が自動で生成されます。



納税額の確認：最終的に納税する額（または還付される額）を確認します。

💡 お金の知識ゼロポイント

マネーフォワードの有料ソフトなら、複雑な計算はすべて自動です。
あなたは画面の案内に従い、内容に抜け漏れがないかを確認するだけで完了です。



STEP 4: 【提出】作成した書類を税務署へ提出し、完了



提出方法

- 推奨: e-Tax（電子申告）：マイナンバーカードを使い、オンラインで提出。
- または 印刷して提出：税務署へ郵送または持参。

揃えるもの（e-Taxの場合）

- マイナンバーカード
- PCまたはスマホ

納税

- 算出された税金を、期限までに支払います。

**青色申告の最大控除（65万円）を受けるには、
e-Taxでの提出が必須です。**

65万円。

青色申告の特別控除、65万円。
この最大の節税メリットを享受するための条件は、ただ一つ。

e-Taxによる電子申告

郵送や窓口提出の場合、控除額は55万円に減額されます。

7日間の旅の終わり。 あなたはもう、迷わない。

確定申告の完了、おめでとうございます。
あなたは税務の基本を理解し、自身の事業を
数字で管理する力を手に入れました。
これは単なる義務の完了ではありません。
フリーランスとして、自らの足で立つための、
大きな自信です。

